

命をつなぐ食

岩美町立岩美北小学校 担当教科：全教科 澤田 孝志

実践教科：総合 対象学年：5年 対象人数：38名

■実践の目的

- 日本とベトナムの違いとところに注目し、ベトナムに興味を持つ
- 世界の水事情を知る
- 世界の食料事情を知る
- ある国の1週間分の食材を写した写真に注目し、その写真の国を考える
- 食材の内容や量から判断して、食費の多い順番を考えランキングにし、食費の違いを知る
- 食前の儀式で「感謝」の気持ちが、どの宗教も共通していることを知る
- 世界の諸問題に対して、取り組んでいる団体 JICA について知る
- 私たちができることを考え、行動する態度を養う

■授業の構成

本校5年生の総合的な学習の時間において2学期のテーマが「命をつなぐ食」であった。地元、岩美町の特産物について調べ、それをもとにして考えた「岩美オリジナルグルメ」を作り、友だちや地域の方に伝える学習を通して、自分達の住む地域の特性やよさに気づくことができることをねらいとして実践を行った。本実践は、その続きの小単元として位置づけ、単元を構成した。自分達の町の食に触れた経験を生かして、日本や世界に目を向けることができるよう以下のように計画し、実践した。

時限	テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1	○ベトナムの生活 • 日本とどう違うの？ (衣食住・環境・歴史・学校 など)	• ベトナムの町の写真を提示し、気が付いたこと、考えたことを書き込む (フォトランゲージ) ※日本と違うところ・似ているところという観点を示しておく	ワークシート 写真(ベトナムの町) →提示用 写真(ベトナムの町) →フォトランゲージ用
2	○水問題の現状 • 日本での使われ方 →ほとんど衛生のために使っている • 世界で安全な水を飲んでいる人 →ほとんどない	• 普段、家庭でどんな時に水を使うか意見を出す • その中で、使う水の量が多いと思う順番を予想して並べる (ランキング) • 世界の水の使われ方について知る	ワークシート 円グラフ (日本の家庭の水の使われ方) 世界地図 (世界の生活用水量)
3	○世界の食に目を向けよう • 世界には日本と違うことがある(衣食住・環境・歴史・学校 など) • 食べ物の違いは？	• ある国の1週間分の食材と家族の写真を見て、気がついたこと・疑問に思うことを書こう (フォトランゲージ) • 家族が住んでいる国を考えよう。 (国当てクイズ)	ワークシート ある国の1週間分の食材と家族の写真 →フォトランゲージ用 →国当てクイズ用
4	○食糧問題の現状 • 国によって食料にかけている金額が違う • 輸入しないと質素な食事は • 日本は廃棄が多い • 一方で世界では貧困も	• 家族の1週間分の食費が、高い順に並べる (ランキング) • 日本の食料事情はどうなっているのか考える (紙芝居) • 日本は多くの食品を輸入している。また廃棄が多いことを知る • 反対に、世界では満足に食べられない国や地域があることを知る	ワークシート ある国の1週間分の食材と家族の写真 →提示用 →ランキング用 紙芝居
5	○食で共通することは • 宗教によって食前の儀式は違う • 共通することは、「感謝」の気持ち	• 食料の量、内容、金額が各地域で違っていた • 反対に共通することは何か、考える • 主な宗教の食前の儀式や意味を知る • どの宗教も、「食べられることに感謝」する意味があることを知る	ワークシート 『写真で学ぼう！「地球の食卓」学習プラン10』 ～食前の儀式～

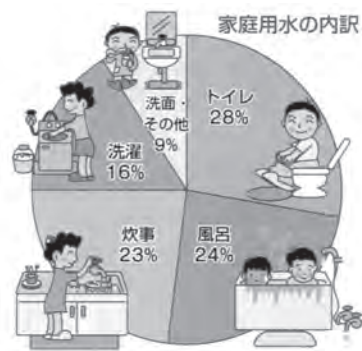
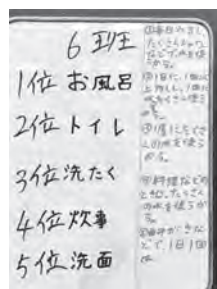
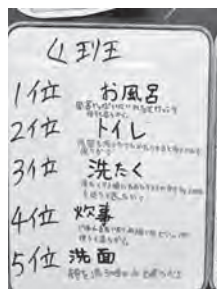
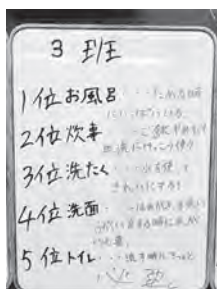
6	<p>○食の問題に自分達ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> • JICA でやっていること <p>→ Win - win の関係になるために</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自分たちのできることとは 	<ul style="list-style-type: none"> • 世界には、食べ物や水の問題で困っている人が多くいることを復習する • このような問題に対して、いろいろなサポートをする団体について知る • 自分達が身近にできることについて話し合い、意見を出す 	<p>ワークシート 指相撲ゲーム 映像（子ども向け）もつと知ろう世界のこと～ JICA は世界とともに～ 写真（ベトナムの JICA の取り組み）</p>
---	--	--	---

■この授業に注目！

【2 時間目】 水問題の現状

ねらい：水問題の現状について知る

- (1) 日本の家庭で使われている水の使われ方にはどんなものがあるか、意見を出そう。
(洗濯 お風呂 洗面 トイレ 炊事)
- (2) そのうち、使われる水の量が多いと思う順に、ランキングにしてみましょう。
個人→班→全体発表
(各班の予想)



本当は、

- | | | |
|----|-----|-----|
| 1位 | トイレ | 28% |
| 2位 | お風呂 | 24% |
| 3位 | 炊事 | 23% |
| 4位 | 洗濯 | 16% |
| 5位 | 洗面 | 9% |

1人1日 296L (シャワーを 24.6 分、流し続けた量になる)
日本での使われ方 →ほとんど衛生のために使っている

- (3) 世界の水事情について考えよう
世界で安全な水を飲めているのは →ほとんどない



〈児童の反応〉

- お風呂が1番、使う水の量が多いと思う。理由は、お風呂をためるのはたくさん水を使うし、シャワーも使っているから
- トイレが一番多く使うのがびっくりした
- 洗面だけで約26Lも使っていてびっくりした
- 1人1日296Lも使っているのは多い。もったいないと思った
- 日本で炊事に使われているのは、23%だけは少ないと思う
- 世界にはきれいな水が飲めない国があることを知った
- 国ごとに差がある。特にアフリカで、使われる水が少ない
- 子どもが頭の上にバケツを置いて、長い距離を歩いている映像を見たことがある
- 世界では水不足も起きているので、水を大切に使用したいと思った
- 今まで、たくさん水を無駄に使ってきたことが分かった。無駄遣いしないようにしたい

〈所感〉

- 日本では、飲み水として使われているのは約23%で、主に「体を清潔に保つため」に多く水を使っていることを児童は理解していた。
- 一方、世界では満足に水を得ることができていない国や地域があり、世界で生活に使う水の量に差があるという現状を理解していた。

【3時間目】 世界の食に目を向けよう

ねらい：世界の食に目を向けよう

- (1) 写真を見て、気がついたこと・疑問に思うことを書こう（フォトランゲージ）

（フォトランゲージの様子）



（発表して共有している場面）



- (2) 国当てクイズ 家族が住んでいる国を考えよう。

1班：エジプト

2班：中国

3班：ドイツ

4班：チャド（アフリカ大陸中央の国）

5班：アメリカ

6班：インド

- (3) 世界地図で、その国の位置を確認する

(フォトランゲージで書き込みした物)



〈児童の反応〉

	予想	本当は
1 班	アラブ首長国連邦	エジプト
2 班	中国	中国
3 班	アメリカ	ドイツ
4 班	ケニア	チャド
5 班	ロシア	アメリカ
6 班	インド	インド

- 国ごとに1週間分の食料が違う。差がある
- 家族の人数や部屋の雰囲気も違う
- マクドナルドのハンバーガーやチキンナゲットがある
- ナンがあるから、この写真はインドだと思う
- ドイツは、食べ物より飲み物が多いのが分かった。また、肉も多い
- チャドの写真の中に、日本の国旗が見える。日本の水だったのがびっくりした

〈所感〉

- フォトランゲージをこの単元で初めて実践したが、児童の考えが視覚的に分かり、教師の見取りがしやすかった。また、全体ではなかなか意見を言いにくい児童も積極的に参加する姿が見られた。
- 国当てクイズで、食材の内容やそこに写っている人に注目して、児童は考えていた。
- チャドの写真の中に、日本の国旗を発見した児童がいた。その場では説明せず、第6時に扱った国際貢献の一部で紹介した。児童の観察力に感心した場面だった。

【4時間目】 食糧問題の現状

ねらい：日本と世界の食糧事情について考えよう

(1) 家族の1週間分の食費が、高い順にランキングにしてみよう

(エジプト 中国 ドイツ チャド アメリカ インド)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
本当は	ドイツ 3 班 59009 円	アメリカ 5 班 28614 円	中国 2 班 18297 円	エジプト 1 班 8087 円	インド 6 班 4633 円	チャド 4 班 143 円

(ランキングを予想)

(理由を説明)



(2) 日本の「食」について 見てみよう (紙芝居風に印刷して、読み聞かせ)

日本の食料自給率は、約 40%

主な食料の自給率						
食パン…1%	スパゲッティ…3%	そば…21%	醤油…0%	ごま…0%	こしょう…0%	納豆…13%
えび…5%	豚肉…5%	卵…9%				

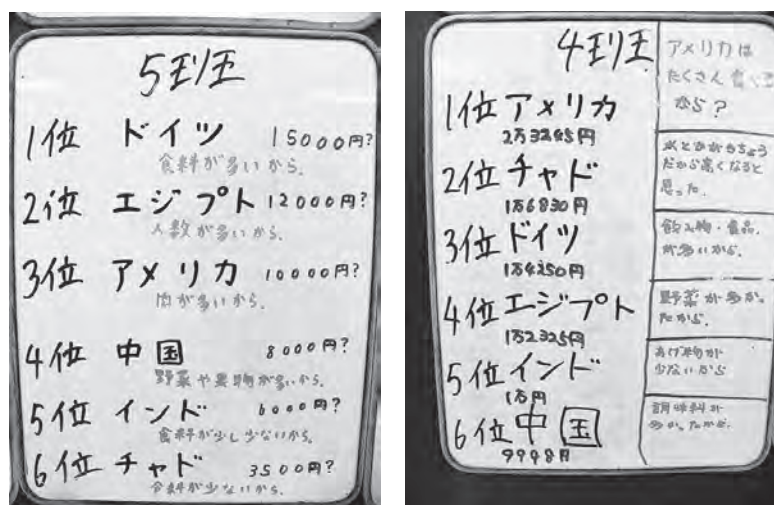


輸入が止まったら献立 (こんだて) は・・・



でも、台所からのごみの約 4 割 は、まだ食べられるのに捨てられている

(児童の予想)



(授業の板書)



〈児童の反応〉

【ランキングの理由】

- ドイツは、食品の数が多いため。飲み物が多いから（ランキングが上位になる）
- エジプトは、家族の人数が多いから（ランキングが上位になる）
- アメリカは、肉が多く、ファーストフードなど高そうな食品が多いから（ランキングが上位になる）
- 中国は果物が多いから、それほど高くはない

- インドも野菜が多い
- チャドは、明らかに品数が少ないから高くはない
- チャドは意外に高い？ 水は貴重だと思うから

【結果を知って・・・】

- ドイツの 59009 円は、予想より高くてびっくりした
- チャドの 143 円はとても安い
- ドイツの食費とチャドの食費で 58866 円も違っていたのが分かった
- 国によって食料にかけているお金の金額が大きく違う
- 日本の食糧自給率は約 39% で低い
- 日本の台所からの食料のうち、約 4 割が食べられるのに捨てられていることが分かってびっくりした
- 一方で世界では貧困もある
- 輸入しないと大変なことになる
- 卵や肉は週に 1 回しか食べられない
- 輸入することは、今の日本に必要なこと
- 普段自分達も、つい給食を残してしまっている
- 食べ残しをせずにちゃんと全部食べるようにしていく

〈所 感〉

- 児童は、写真をじっくり眺めて食費を予想していた。結果は、児童の予想を見事に覆して、児童に興味を持たせることができた
- ドイツの 59009 円は予想より高く、チャドの 143 円はとても安いと感じていた。とくにチャドの食費の安さには驚いている児童が多かった。

全体を通しての成果と課題

(成果)

児 童

- 国によって、食料の内容、量、金額が大きく違っていることを実感できた
- 世界の水事情や食糧事情について多く知ることができた
- 普段何不自由なく生活している児童が、世界で起こっている状況を知り、自分達にできることについて考えるきっかけになった
- 外国とのつながりを実感できた。児童の感想でも「つながり」「協力」「Win-Win の関係」という言葉が出ていた

教 員

- 国際協力の現場を視察し、その現場を見たり働いておられる方々の話を聞いたりして、教員が学んだことを児童に還元することができた
- 「参加型」の学習を取り入れたことで、全ての児童が授業に参加する機会を保障できた
- 中国 5 県の先生方とつながりを持てた。事前研修や現地研修で、多くの人と出会い、いろいろな話を聞いた。そのような話を、授業で子ども達に多くの人のことについて話すことができた。

(課題)

- 児童に偏った知識を持たせる可能性に気を付ける。(原付バイクに何人も乗っている、道にごみが落ちている等の) 事実の背景にある環境や社会情勢も教えていく必要性を感じた。日本との違いを肯定的に捉えられるよう、宗教や気候、経済システムなどにも触れることが必要である
- 児童の普段の生活とかけ離れていて、自分のこととして考えられていない児童の姿も見られた。授業で、自分達の問題として考えられる必然性が生まれる授業方法や問いを考えていく
- 教材の精選が必要。ベトナムでの写真や聞いた話の一部しか授業では扱えない。何を、どうやって教えるかを来年度以降も検討していく

参考資料

【書籍／パンフレット】

- 「写真で学ぼう！『地球の食卓』学習プラン10」DEAR30周年記念特別基金対象事業
- JICA 地球ひろば（2012）「国際理解教育実践資料集～世界を知ろう！考えよう！～」
- JICA 地球ひろば（2011）「いのち、輝け！－発展途上国の健康を守るために－」
- JICA 中国（2013）「どうなってるの？世界と日本」
- JICA 中国（2013）「どうなってるの？世界と鳥取県」
- JICA ベトナム事務所（2013）「日本とベトナムのパートナーシップ これまで、そしてこれから」
- JICA（2011）「JICAの仕事 みんなでつくる、よりよい世界。」
- JICA「日本も元気にする青年海外協力隊 vol.2」

【映像資料】

- 「JICA は世界とともに（JICA 事業紹介ビデオ）」<http://www.jica.go.jp/pictures/movie/index.html>
- 「（子ども向け）もっと知ろう世界のこと～JICA は世界とともに～」<http://www.jica.go.jp/pictures/movie/index.html>
- 「JICA イメージムービー」<http://www.jica.go.jp/pictures/movie/index.html>

【インターネット】

- 「独立行政法人 国際協力機構（JICA）」<http://www.jica.go.jp/>

〈参考：ワークシート〉

命をつなぐ食 名前 ()

めあて：

日本の家庭の水の使われ方にはどんなものがあるか、意見を出そう

--

そのうち、使われる水の量が多いと思う順に、ランキングにしてみましょう。

	1位	2位	3位	4位	5位
自分の予想					
理由は					
班の予想					

	1位	2位	3位	4位	5位
本当は	→ L	→ L	→ L	→ L	→ L

合計： 1人1日 L (シャワーを 分流した量になる)

(2) 世界の水事情について考えよう

感想、分かったこと、初めて知ったこと、自分にできること、など

■第1時のフォトランゲージで使った写真